

ぜんしん かんじ
全身で漢字

2025/5/26

No.42

岩渕和信



ねんせい きょう かたち かんじ へんきょう
2年生。今日は『形』という漢字を勉強します。

「さあ、この字。なんて読むの?」「かたち!」

「かたち。ね」「四角形のケイ」

「お! 四角形のケイ。それ知ってるの?」「うん。さんかくけいとか」

「そう。人形のギョウ、ひし形のガタ、形式のケイ、いろんな読み方があります。では、この字がどんな風にできあがったか?」スクリーンに映し出しながら見ていきます。

「これ、『サンツクリ』っていうんだって、この右の方」「あ、反対だとサンズイ?」

「んー、ここに来るとサンズイかな。これ、三ににてるでしょ。サンツクリ」「あー」

「で、こっち側のは、『鋳物の型枠からできた形』って書いてあります。鋳物っていうのは金属を溶かしてつくるものです。鉄とか、金とかね。その形が美しいことを表したのがこの字です」「へー」「井戸の井と似てるよ」「これがね」

「じゃあ、早速! いきましょう!」「いきましょう!」

「右手の、用意!」「右手のよーい!」みんな声をそろえて腕を伸ばします。

せんせい ぜんしん
先生が全身で『形』を書いていきます。

「イチ!」「二!」一画、一画、全員で声をあわせて空間に書いていきます。

「サンではらいまーす! サーン」「サーン」

「シ、で。ゴ・ロク・ナナではらいまーす」

空間に『形』が書けたでしょうか?

「書けた? ここ止めた?」「あ〜止めなかった」

「あれ、じゃ、やりなおしー。イチ、二、サンはらう、シ、止めて! ゴ、はらう、ロク、はらう、ナナ、はらう」

全身で漢字を感じる時間です。



一粒の砂の中に世界を、一本の野の花の中に天を見るように、手のひらに無限を、
ひとときに永遠をつかみなさい (ウィリアム・ブレイク)